

# HIGHTAIL

## 概要

### ニーズ

Hightail は容量のニーズを満たすようコスト効率よく拡大でき、地理的なゾーンを超えて利用できる、管理しやすいオブジェクト・ストレージ・ソリューションを必要としていました。

### ソリューション

Hightail は、高いデータ・セキュリティ、冗長性および耐久性を提供し、コモディティ・ハードウェアにおいて最大効率で実行し、より迅速にコストを制御できるよう設計する IBM® Cloud Object Storage (COS) の実装を選択しました。

### メリット

Hightail は予算と管理費を削減しながらストレージを増やし、以前のプロバイダーよりも 4～5 倍安価になる使いやすいソリューションを実装しました。また、30 パーセント以上消費電力を削減したと見積もっています。

## Hightail

*Hightail* はデータによって成長するストレージに *IBM Cloud Object Storage* を選択

Hightail は 2004 年に設立され、クラウドという単語ができるよりも前にクラウドに取り組んでいました。Hightail サービスは当初、電子メールで処理できない大きな添付ファイルを送信するシンプルなサービスでした。その後、同社は成長し、堅牢なオンライン共有、ストレージおよびファイル管理機能を提供するようになりました。現在では、193 カ国で 4000 万以上の登録ユーザー、Fortune 500 の 98 パーセントが同社にサービスを提供しています。

### ペタバイトのストレージだけではない

Hightail は以前、お客様に、大容量ファイルを素早く安全に送信する簡単な方法を提供するファイル配信ビジネスから始まった「YouSendIt」として知られていました。その後、過去 10 年以上にわたって、ファイル共有、リモート・ドキュメント・アクセス、クラウド・ストレージなどの新しいサービスを追加してきました。ユーザーは無制限のファイル・ストレージおよび Hightail のモバイル/デスクトップ・アプリを使用することで、どこからでも、あらゆるデバイス上にある自分たちのファイルにアクセスできます

「*Cleversafe* は方程式からコストを取り除き、まるで無料かのようにストレージを取り扱います。プラットフォームが使いやすく、専用ストレージ・チームがいなくても運用が可能になるため、*Cleversafe* は以前のプロバイダーより 4～5 倍安価になります。」と Hightail の IT 運用部門 VP、*Rob Ruth* は語っています。



## ソリューション・コンポーネント ソフトウェア

IBM® Cloud Object Storage System

- IBM® Cloud Object Storage Manager
- IBM® Cloud Object Storage Accessor®
- IBM® Cloud Object Storage Slicestor®

Hightail は無料プランでは 2 ギガバイトのストレージ、有料プランでは無制限のストレージを提供しています。新しいサービスの導入に伴い、彼らはユーザーが保存するファイルの種類やデータの量が増えたことに気がきました。

Hightail の IT 運用部門 VP、Rob Ruth は「これまでユーザーはいくつかのデスクトップ・ファイルを保存していました」と語っています。「現在、ユーザーはフォルダーをローカル・フォルダーのように扱い、大容量のファイルやより多くのデータを保存しています。ワークスペース製品を立ち上げた際、当社のストレージを 5 倍拡大する必要がありました。」

193 カ国 4500 万以上の専門家が Hightail を使用してファイルをリモートで共有・制御することにより、Hightail は顧客データが毎月 1 ペタバイト以上増加することに気がきました。

以前使用していたデータ・ストレージ・システムでは、大幅な値上げを行わずに会社の Web スケール・データ・ストレージのニーズを満たすことができなくなりました。Hightail チームが顧客のデータの需要を満たすため、コスト効率よく拡張できるオブジェクト・ベースのストレージ・プロバイダーを探し始めたとき、IBM が候補に挙がりました。

### 拡張可能で、コスト効率がよく、管理しやすい

Hightail はデータと共に成長し、コスト効率の良さを維持する、管理しやすいストレージ・ソリューションを探していました。オブジェクト・ストレージの主なメリットは、よりコスト効率よく大量のデータを確実に保存できる能力です。専用アレイではなくコモディティ・ハードウェアで最大効率で実行するよう設計された IBM COS の Web スケールのオブジェクト・ストレージは、Hightail に対し、より迅速にコストを制御する方法を提供しました。

IBM COS は特許取得済みのオブジェクト・ベースのストレージ・ソリューションを使用し、情報分散アルゴリズムおよび暗号化を活用してストレージ・ノードのネットワーク全体でデータを拡張、変換し、分散させます。これにより、同じデータのコピーを複数保持する必要がなくなり、オブジェクトの保護されたコピー 1 つを 1 か所の離れた場所にある複数のストレージ・ノード全体で分散させることにより、IBM のテクノロジーは複数の障害が発生した場合でも、データの高い可用性と、データへの信頼性の高いアクセスを提供するよう設計されています。

このアプローチにより、Hightail は従来のプラットフォームで使用していた RAW ハード・ドライブ容量の一部を使用して、顧客データを確実に保存できるようになり、セキュリティのオーバーヘッドを排除しました。

暗号化は IBM 側で行われるため、Hightail は規制され、セキュリティを重視する環境で顧客の要件を満たすことができます。顧客のニーズを解決するだけでなく、Hightail は自分たちで暗号化を処理していた際のエンジニアリング作業やコストを削減することができました。

Hightail には米国に複数のデータ・センター、ヨーロッパやオーストラリアに複数の拠点があるため、国内、海外、および世界中で拡張する必要がありました。すべてのベンダーの中で、IBM は地理的ゾーンを超えてより高い可用性を提供しました。

また、Hightail は評価を行ったすべてのオブジェクト・ベースのストレージ・ソリューションの中で、必要な統合が最も少ないことに気がきました。IBM COS の API は最も成熟しており、Amazon インターフェースを 100 パーセント以上準拠していました。IBM COS は、公開または非公開クラウド内のストレージをコスト効率よく拡大および管理することができ、データとともに増加するストレージに最適な選択となりました。

### 方程式からコストをなくす

プライベート・クラウド環境をサポートするために IBM COS System を選択することで、Hightail はハイパースケールのストレージを提供し、画期的な経済を実現できます。IBM COS ソリューションは、複数の場所で情報の完全なコピーを利用できるようにする従来のストレージ・システムよりも安全であり、暗号化やウイルス・スキャンなどのサービスを提供します。そのため、それらのサービスを別々に管理する必要がなくなりました。

「Cleversafe は方程式からコストを取り除き、まるで無料かのようにストレージを取り扱います。」と Hightail の Rob Ruth は語ります。「当社では予算と管理費を削減しながら、ストレージ・フットプリントを効果的に改善しました。ソリューションが使いやすく、専用ストレージ・チームがいなくても運用が可能になるため、Cleversafe は以前のプロバイダーより 4 ～ 5 倍安価になります。」と Hightail の IT 運用部門 VP、Rob Ruth は語っています。

Ruth によると、彼のチームが管理ストレージ・タスクに費やす時間は、これまでの半分になりました。また、ボード全体で効率性を提供する IBM COS により、電力消費量を 30 パーセント以上削減したと予測しています。



## IBM Cloud Object Storage について

IBM Cloud Object Storage は組織に対し、ハイブリッド・クラウド環境で急激に増加する現在の非構造化データを保存、管理、およびそれらにアクセスするために必要な柔軟性、スケール、および簡素性を提供します。当社の実績あるソリューションは、いくつかの世界最大のリポジトリに依存することで、ストレージ・コストを削減すると同時に企業モバイル、ソーシャル、分析およびコグニティブ・コンピューティングに対する従来の作業負荷と新興のクラウド由来による作業負荷の両方を高い信頼性でサポートし、ストレージの課題をビジネスでの優位性に変えます。IBM Cloud Object Storage は IBM が 2015 年に買収した、オブジェクト・ストレージのリーダーである Cleversafe のテクノロジーを元にして構築されています。

### 詳細情報

電話での問い合わせ先: 312-423-6640 または電子メール: [sales@cleversafe.com](mailto:sales@cleversafe.com) または Cleversafe Web サイト: [www.cleversafe.com](http://www.cleversafe.com) にアクセスしてください。

詳細については、以下を参照してください。IBM Cloud Object Storage: <http://www.ibm.com/cloud-computing/infrastructure/object-storage/>

© Copyright IBM Corporation 2016

IBM Corporation  
Route 100  
Somers, NY 10589

Produced in Japan  
July 2016

IBM、IBM のロゴ、ibm.com および Cleversafe は、米国をはじめ他の国における International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。本文書の初出時に、上記およびその他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標 (® または ™) が付いている場合、この情報が公開された時点で IBM が所有する登録商標または慣習法上の商標であることを示しています。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、Web 上の「著作権および商標情報」([ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml)) を参照してください。

他の製品名、会社名、またはサービス名は、他社の商標またはサービスマークである可能性があります。

本書の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、IBM によって予告なしに変更される場合があります。掲載されている製品・サービスは IBM がビジネスを行っているすべての国・地域でご提供可能なわけではありません。

性能データとお客様の事例は、説明目的のみのために提示しています。実際の性能結果は、特定の設定や運用条件によって異なる場合があります。他社の製品またはプログラムと IBM の製品またはプログラムを併用した場合の操作の評価および検証は、お客様の責任で行ってください。本資料の情報は「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性に対する保証、および非侵害の保証または条件を含め、いかなる明示的または黙示的な保証も行いません。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

確実なセキュリティー体制への取り組みについて: IT システムのセキュリティーでは、社内外の不適切なアクセスの防止策、検出、対応に取り組むことで、システムと情報を保護しています。不適切なアクセスにより、情報が改ざん、破壊、または不正流用される可能性があり、システムへのダメージや他者への攻撃といったシステムの悪用が生じることがあります。IT システムまたは製品によってセキュリティー対策が万全になると考えることは危険であり、1 つの製品またはセキュリティー対策で不正アクセスを完全に有効に防ぐことはできません。IBM のシステムと製品は、包括的なセキュリティー・アプローチの一部として設計されています。そのため、運用手順を追加することがどうしても必要となり、効果を最大限に高めるには、他のシステム、製品、サービスが必要になることがあります。IBM は、システムと製品が他者による悪意のある行為または不正行為から免れることを保証するものではありません。



リサイクルにご協力をお願いします